



日も風もよく通るなり若葉湧く

プロの句

- ・プラタナス夜もみどりなる夏は来ぬ 波郷
- ・力ある風出来たり鯉幟 矢島渚雄
- ・ぼうたんの百のゆるるは湯のように 澄雄
- ・目つむりていても吾を統ぶ五月の鷹 寺山修司
- ・ゆるやかに着てひとと逢ふ螢の夜 桂信子
- ・手をあげて此世の友は来りけり 敏雄
- ・夏河を越すうれしさよ手に草履 蕪村
- ・万緑の中や吾子の齒生初むる 草田男
- ・大きな木大きな木陰夏休み 宇多喜代子
- ・ひきだしに海を映さぬサングラス 神野沙希
- ・端居して濁世なかなかおもしろや 青畝
- ・雲の峰幾つ崩れて月の山 芭蕉
- ・炎天の遠き帆やわがこころの帆 誓子
- ・家のなき人二万人夏の月 子規
- ・あなただあれなどと母いふ暑さかな 武内立
- ・どれも口美し晩夏のジャズ一团 兜太
- ・飛込の途中たましひ遅れけり 大串章
- ・神田川祭のなかを流れけり 万太郎

アマチュアの句

- ・水ゆれて早苗傾く湖畔かな
- ・ひざまづき畦塗る人に入日かな
- ・さぎ波に千切れさうなる植田かな
- ・木の芽吹くまつただなかを快走す
- ・そらまめを剥くつめ先の青さかな
- ・けもの道こゑの染み入る新樹かな
- ・ほととぎす雨の匂へる木立かな
- ・糸蜻蛉どの草となくゆきとまる
- ・湖風に笹の葉ゆれる星迎